

1. ロバニエミ

サントススポーツという施設に宿泊した。この施設にはプールや室内トラック、ジムなどがあり、夕方近くになると、研修生や、新体操をやっている小学生で賑わいます。僕らはそこでヨーロッパで人気の高いホッケーをしました。サッカーなどとはちがって走りながら上体も沢山使うのでとてもやりがいや迫力があり楽しかったです。

サントススポーツ施設のまわりを見て歩いた。一見どこかの公園を見ているかと思うほどのスレチックやグラウンドが沢山ありスポーツに力を入れている国だからこぞできることなのかと思った。

サントススポーツから少し上がったところにオリエンテーリングという地図を使いながらそのポイントを通りゴールするというなんとそ外国らしいアクティビティなスポーツで、実際やってみるとなかなかポイントまでたどりつかないし、足場がわるく手間取った部分もあったが、すごい自然を感じて歩くことができ、ポイントを見つけたときにはなんととも言えない嬉しさがありもう一度チャレンジしたいと思った。

フィンランドスキー連盟部長兼サントススポーツ施設の職員のエーロさんにあった。エーロさんは長野オリンピックバイアスロン競技のコーチとして来ていたらしい。次の平昌オリンピック前の合宿では北海道でおこなうらしい。

2. ボッカティ

ボッカティはスキートネルのあるところで、夏冬関係なく日本のナショナルチームがここで合宿を行います。いわば、世界に出るためのスタート地点といわれます。

世界最高峰のスノーポリス研究所では大学生などがストックの強度を測ったり、特殊な機械の上でローラーをして、技術や体力などを計測します。僕もこの計測をしたら体力や力の伝わり方、技術などがちゃんとデータとしてるので、今後レベルアップにとても役立つと思いました。

スキートネルでは、5度の中走りしました。僕の想像している雪質ではなく、とてもサラサラとした雪でたいていのりずらかったです。でも、ローラーでもいじけているインパクトのあるすべりなとフォーム練習が十分できました。でも、外国の雪はこういう雪質が多いらしいので、夏でも環境にあつたトレーニングができます。

僕たちが宿泊しているホテルの前にサッカーコートがあり、1日中若者たちが楽しそうにサッカーをしてにぎわっていました。

3 ラハティ

ラハティはロバニエミヤボッカティとは違いとても都会感があり、また、一部の道路がレニガを並べて作っていてヨーロッパを感じさせる街並みでした。

2017年スキ-世界選手権の開催地域でもあるラハティ。僕たちが泊まっていたホテルから車で10分ほどの所にあるジャンプ台を見学しました。

まだ工事中の最中でしたが、日本のトップ選手よりも早くスタートに上がり、見たことは聞く得をした。とてもいい経験でした。いつか僕もワールドカップとかでこのジャンプ台を飛んでいる選手になる。スタートから見た感じ白馬のラ-ジビと似ていたのでもっとか光るそうです。

ラハティの中学校では、日本の中学校と違いがたくさんありました。まず、教科ごと教室があるのと、10時30分に昼食ということ。それから先生と生徒が友達のように話していることです。日本の中学生とは明らかに体格も違ったりとどこかの大学に来ているかのようでした。一緒に行なな体育では何年かやって来ているはずの槍投げではどうも槍を投げおながら人を見て少し驚いて、自由でも感じました。

STARTのワックス工場では、作り方は学びましたが、使い方にかなりとても約にたつ話はかりでした。Universal MFというWAX常に使えるし、パウダーをかける前のベースにもなる万能WAXで、コンバインドのJapani選手もよくつかっているというところでも、使ってみるとWAXです。

4 ヘルシンキ

フィンランドの首都でもあるので、とても多くの観光客で賑わっていました。

ラハティよりも歴史ある建造物ばかりで、とくに、岩をくりぬいて作った教会は、幻想的で、毎週木曜日には必ず何種かの結婚式があげられていて、いるいそがしい教会でした。

港には豪華な船や、市場もやっていて毎日すごいたびわっていました。

5

フィンランドでの食事はほぼ毎日バイキングでした。そこでは、外国の人たちもものすごい量を皿にとって食べているので、こちらが体格がよくなるのかもしれない。また、お風呂はあくシャワーだけで、日本人としてはあまりうれしくないことでした。あと、一番印象に残っているのは、小川が干涸び、干涸びの跡で、多くの人がスホリを身に着けていること。それに、どういじめている施設がなくて人があることです。

本当に、フィンランドに来たこととあかざることをかたくなに覚えているのはこのキャンプを企画した内田洋介さんはじめ who is Next? 寄付金チャリに協力している人たちは、人の力のおかげで、一生大切にしたい。そして、その人たちに、スキ-人生に

しかし、仲間ではとても大人気な遊びです。

本当に中学生のうちにこんなにも濃い日々を過ごしているのは本当にありがたいことでした。